

平成 19 年度

# 施設評価調書

施設の名称.....稲 梓 幼 稚 園

所管担当課.....下田市教育委員会

学 校 教 育 課

平成 19 年 11 月

平成19年度	施設名(愛称名)	下田市立稲梓幼稚園	番号	93
--------	----------	-----------	----	----

## 施設の概要

1 施設名 (愛称名)	下田市立稲梓幼稚園		2 担当課 担当係	学校教育課 学校教育係		
3 所在地	下田市椎原 287 番地の 8		4 設置年月	昭和 28 年月日		
5 総合計画の 位置付け	人 材 づ く り	未来の人づくり	幼児教育			
	施 策 体 系	幼稚園・保育所の一元化 幼児教育の充実	組織の構築・新園の整備 教育活動の弾力化・幼稚園の整備			
	主 要 事 業	幼稚園管理運営事業 幼稚園施設整備事業 幼保一元化事業	幼児教育相談・公開講座等の開催 幼稚園施設・設備の整備 推進委員会の設置・施設の増改築及び新 設・合同研修会の開催			
6 設置目的	幼稚園教育の基本に基づいて展開される幼稚園生活を通して、生きる力の基礎を育成する。 家庭との連携を図りながら、生涯にわたる人間形成の基礎を培う。					
7 設置根拠	下田市立小・中学校及び幼稚園設置条例					
8 施設の概要	施設の概要	敷地面積 2,000 m <sup>2</sup> 建築年月 昭和 49 年 11 月		建築面積 483 m <sup>2</sup>		
		鉄骨平屋 園舎(教室・遊戯室・職員室) 運動場				
	実施事業 の概要	幼稚園は、園児を保育し適当な環境を与えてその心身の発達を助長することを 目的とする。 そのために幼児期の特性を踏まえ、環境を通して行うことを基本とする。				
	料金体系	料金 区分	授業料 月額 6,100 円(8月分の授業料は徴収しない。)	給食費 月額 3,800 円(給食費会計)		
		主な 料金	同上			
		減免 内容	(授業料の減免) 第5条 市長は、園児が登園しないことが月の初めから末日までに及ぶ ときは、当月分の授業料を免除することができる。 2 市長は、幼児教育の振興を図るため、園児の保護者に対し、規則で 定める場合に該当するときは、授業料を減免することができる。			
	利用料金制度		有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/>			
施設運営 方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接運営					
	指定管理者制度		指定管理者			
	一部委託		委託内容			
直接従事職員	下田市職員数 2名 委託団体職員数					
9 市内の 類似施設	下田市所有	下田・吉佐美・稲生沢・白浜幼稚園				
	民間所有					

平成19年度	施設名(愛称名)	下田市立稲梓幼稚園	番号	93
--------	----------	-----------	----	----

10 取得費等の情報 (単位:円)	取得費及び財源内訳 単位:円		平成18年度末残高 単位:円		(備考) 減価償却の方法 ・定額法 ・残存価格1円 ・新築の翌年度から償却 ・耐用年数34年 (s49.11~h20.10)						
	土地取得費		土地残高								
	建物取得費 34,685,000円		建物減価償却後残高 2,040,296円								
	財源内訳		年間償却額算定式 34,685,000円 ÷ 34年 = 1,020,147円								
	国・県支出金		市債残高 0円								
	市債										
	一般財源										
寄附金等											
物品(*万円以上)		物品減価償却後残高									
11 年間経費等推移 (単位:円)	区 分		H16年度決算	H17年度決算	H18年度決算	H19年度予算					
	収入	幼稚園使用料	1,499	1,504	2,134	2,535					
	収入合計		1,499	1,504	2,134	2,535					
	支出	1節 報酬	397	1,520	391	162					
		2節 給料	9,327	9,242	7,635	10,204					
		3節 職員手当等	4,032	3,995	3,199	4,361					
		4節 共済費	1,818	1,827	1,661	2,345					
		7節 賃金	2,291	2,120	2,136	2,161					
		9節 旅費	61	35	45	86					
		11節 需用費	1,271	950	818	1,062					
		12節 役務費	153	148	149	193					
		13節 委託料	721	608	368	477					
		14節 使用料及び賃借料	443	445	460	597					
	18節 備品購入費	115	28	38	25						
	19節 負担金補助及び交付金	60	59	38	43						
	支出合計		60,720	59,275	60,096	76,084					
	減価償却費		1,020,147円	1,020,147円	1,020,147円	1,020,147円					
	市債利子		-	-	-	-					
	下田市負担年間総経費		59,221	57,771	57,962	73,549					
備考	人件費は、実額を算出記載(正職員・嘱託職員等の人件費総額) 減価償却費は、初期投資のうち国庫・県負担分を控除した額を基礎としている。										
12 施設利用状況等の推移	利用状況	年度	H16.5.1		H17.5.1		H18.5.1		H19.5.1		
			クラス数	幼児数	クラス数	幼児数	クラス数	幼児数	クラス数	幼児数	
		合計	2	21人	2	22人	2	27人	2	34人	
		3歳児	-	6人	-	6人	-	12人	-	9人	
		4歳児	1	9人	1	7人	1	8人	1	13人	
		5歳児	1	6人	1	9人	1	7人	1	12人	
	参考:利用単位当たり市負担額	円		円		円		円			
	算出方法:11欄の「下田市負担年間総経費」÷利用者数										
	休園日	祝祭日・土日、夏季・冬季・春季									
	教育時間	4時間									
13 利用者満足度調査	実施の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無			調査結果						
	直近の実施時期										
	調査手法										
	調査数										

平成19年度	施設名(愛称名)	下田市立稲梓幼稚園	番号	93
--------	----------	-----------	----	----

## 業績評価

### 1 目標達成度

目標達成度	区分	単位	H16年度	H17年度	H18年度	H19年度 予算
	利用者数の目標値	人				
	" の実績	人				
	目標達成度	%				
選択した指標	成果指標					
	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の代替指標					
指標選択の理由	目標達成度を選定する指標として同指標を選択した理由					
指標設定の考え方	区分	指標名	指標の考え方			
	成果指標					
	代替指標					

(参考)

活動指標(施設の目的を達成するための具体的な手段におけるそれぞれの達成度合を把握できる指標)

活動指標			区分	単位	H16年度	H17年度	H18年度	H19年度
活動指標	目標指標		目標値					
			実績値					
			達成度					
	目標指標の考え方							
活動指標	目標指標		目標値					
			実績値					
			達成度					
	目標指標の考え方							
活動指標	目標指標		目標値					
			実績値					
			達成度					
	目標指標の考え方							

平成19年度	施設名(愛称名)	下田市立稲梓幼稚園	番号	93
--------	----------	-----------	----	----

## 2 効率性

効率性	区分	説明	単位	H16年度	H17年度	H18年度	H19年度
	施設の総利用者数等		人	252人	264人	319人	408人
	年間経費	施設の事業費・運営費および人件費の合計額	千円	60,720	59,275	60,096	76,084
	利用単位当たり経費	÷ ×1,000円	円/人				
総利用者数等の考え方 施設の総利用総数等について用いた指標について記載してください。		備考 コスト評価項目に関して留意事項、補足項目等があれば記載してください。					

その他の指標			区分	単位	H16年度	H17年度	H18年度	H19年度
目標指数	目標指数	目標値						
		実績値						
		達成度						
	目標指数の考え方							
目標指数	目標指数	目標値						
		実績値						
		達成度						
	目標指数の考え方							
目標指数	目標指数	目標値						
		実績値						
		達成度						
	目標指数の考え方							

受益者負担の適正性	区分	説明	単位	H16年度	H17年度	H18年度
	有料部分の年間経費	使用料等を徴収する部分の年間経費	千円	60,720	59,275	60,096
	受益者負担額	施設の本来の目的による使用料等の年間総額	千円	1,499	1,504	2,134
	受益者負担比率	÷	%	2.5	2.5	3.6
	補正受益者負担額	減免者より正規の料金を徴収したと仮定した場合の受益者負担額	千円	1,499	1,504	2,134
	補正受益者負担比率	÷	%	2.5	2.5	3.6

平成19年度	施設名(愛称名)	下田市立稲梓幼稚園	番号	93
--------	----------	-----------	----	----

## 施設の現状分析

判断視点		項目	施設の状況	
施設方向性の判断視点	施設の設置目的が時代のニーズに適合しているか	設置目的に沿った利用がされているか	利用されている	
		住民の福祉の向上に対し、どのように寄与しているか		
		将来に亘り必要な施設として住民の期待を高めていけるか		
	施設が十分に利用されているか	施設の修繕計画はどのようなものか	第8次教育環境整備5ヶ年計画により	
		施設の運営方法と利用者の情報交換はどのようにされてきたのか		
	施設の管理運営主体が施設の利用目的から判断して適切であるか	同様の施設の設置がされているなど競合していないか	競合していない。	
		民間においても十分可能な施設なのか		
	使用料、利用者数、支出額、市負担額が適正であるか	使用料の算定に当たり実費経費と住民福祉の向上の比較はどうか		
		同種施設との比較、近隣施設との比較はどうか	同等	
		計画上の利用者数と実際の利用者数の違いがどのようなものか	平成16年度より、3歳児受け入れにより増	
施設の耐用年数は何年有るのか		鉄骨(34年) 1年(s49.11 h20.10)		
行政規模からの判断視点	施設の管理運営に係る経費が財政規模からして適正か	施設の管理運営の経費支出が下田市の行政経営からして妥当なのか	維持管理費は、妥当である。大規模改修工事が出た場合財政圧迫が予想される。	
		現行の管理運営を今後も継続していくことが適切か	施設目的、内容から直営方式が妥当である。	
	地域的な施設配置のバランスは適正か	旧町村単位における施設配置の見直しはされているのか	学校再編整備審議会にて審議	
	施設の統廃合が可能な施設はないのか	施設統合が出来る施設の組み合わせは有るのか	ない	
		老朽化と施設維持の比較から改築廃止をどう考えていくのか	改修をし、継続をしていくことが必要	
		地域、民間に譲渡できないのか	出来ない	
		施設の目的の範囲を拡大することにより統廃合可能にならないか	幼保一元化及び統廃合による施設整備	
	その他			

平成19年度	施設名(愛称名)	下田市立稲梓幼稚園	番号	93
--------	----------	-----------	----	----

### 見直しの方策

評価種別		改善・見直しの方策案
市民と行政の役割分担評価	行政関与の妥当性	妥当である。
	受益者負担の妥当性	授業料 平成18年度より5,000円から6,100円値上げした。 3年毎に見直しを実施。
	実施主体の妥当性	妥当である。
	廃止・休止・縮小・外部委託化・民営化などの方向性	考えていない。
業績評価	利用者数等の目標数値及び利用者向上策など	
	執行方法の見直しなど効率化のための目標及び方策	
	受益者負担の現状及び適正化のための方策など	
アンケート調査等	市民アンケート調査等の結果	
サービス面等	サービスの迅速性や利便性など	
	利用者満足度の観点からのサービス提供の質の改善方法	

### 平成18年度事業内容及び見直し事項

事業内容	
見直し事項	

平成19年度

施設名(愛称名) 下田市立稲梓幼稚園

番号 93

**施設懸案事項**

No.	懸案事項	改善経費	備考
1	耐震補強計画・設計委託・補強工事		
2	屋根吹き替工事		
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			

**今後の方向性**

今後の方向性	充実	(具体的な内容) 幼保一元化、統廃合に向けて施設の整備
	効率化等による見直し 現状のまま継続等 縮小等による見直し 統廃合を進める	